

リニア中央新幹線静岡工区工事による生物多様性への影響に関する JR東海の環境影響評価書等からの主な変更事項

1 事業実施による影響

①環境影響評価書における記載

(環境影響評価書 8-4-1-89)

- ・ 事業の実施による影響の程度は小さく、重要な魚類の生息環境は保全されると予測する。

②事後調査報告書における記載

(事後調査報告書 4-1-4-3-45)

- ・ ヤマトイワナのハビタットは保全されると考える。

③今回資料の記載

(P3)

- ・ 保全にあたっては、…生物多様性専門部会委員からご意見を頂いた以下の点についても配慮し、取り組んでまいります。
 - ① 地形・地質が複雑である一方、事前の調査が難しく、その構造等を把握しにくいことから、事業による影響予測に不確実性が存在する
 - ② 希少な生物が生息し、生物多様性が周辺環境の変化の影響を受けやすい脆弱性を持つ
 - ③ 生息環境や生息状況に影響が生じた場合、その変化を確認することが地形、気候等の観点で難しい場合がある

2 食物連鎖図の作成

①環境影響評価書における記載

(環境影響評価書 8-4-3-16)

- ・ 山地の生態系（赤石地域）における食物連鎖の模式図（文献調査のみ）

②事後調査報告書における記載

(事後調査報告書 4-1-4-3-15)

- ・ 山地の生態系（赤石地域）における食物連鎖の模式図（文献調査のみ）

③今回資料の記載

(P57)

- ・ 令和2年9月に実施した生物多様性専門部会委員との意見交換会でのご意見を踏まえ、食物連鎖図をより精緻なものにするために、イワナ類の胃の内容物調査に加え、流下昆虫・落下昆虫調査、周辺の河畔林等の植物群落調査を実施することとしています。今後は、これらの調査結果も含めて、食物連鎖図を作成してまいります。

3 トンネル工事等による地下水位への影響

①環境影響評価書等における記載

(環境影響評価書 8-2-3-11)

- ・ トンネルの工事及び鉄道施設（山岳トンネル、非常口（山岳部））の存在による地下水の水位への影響は、静岡県内（赤石山脈）のトンネル区間全般としては小さいものの、破砕帯等の周辺の一部においては、地下水の水位へ影響を及ぼす可能性があるものと予測する。

②事後調査報告書における記載

(事後調査報告書 4-1-2-2-10)

- ・ トンネルの工事、トンネルの存在及び鉄道施設の存在による地下水の水位への影響は、静岡県内（赤石山脈）のトンネル区間全般としては小さいものの、破砕帯等の周辺の一部においては、地下水の水位へ影響を及ぼす可能性があるものと考える。

③今回資料の記載

(P64)

- ・ 一方で、地下水位（計算上）予測値について、トンネル周辺の山の尾根部において局所的に最大で300m以上低下する計算結果を示したことから、令和2年7月31日「静岡県中央新幹線環境保全連絡会議（合同部会）」において静岡県くらし・環境部より「これによる自然環境への影響については十分な評価が必要」とされました。